

## 先生スッゴイ！！

9月28日(金) 神戸市にある公益財団法人未来教育研究所から、研究助成事業に本校海洋技術科の加藤司先生の研究が採択され研究助成金10万円を交付されるという通知が本財団から届きました。

本研究助成の趣旨は「社会の発展を推進し、希望のある未来を切り拓くためには、教育の充実による人材育成が不可欠です。豊かな人格、あくなき探求心、高度な知識と実行力を兼ね備え、わが国の未来に向けて責任を持って歩みを進めることのできる人材育成の支援に貢献することを目指し、教育が直面する課題の解決に取り組む研究を助成する(HP 抜粋)」とあります。

先生は、この数年「わかりやすい実習作業のコンテンツ化」についてICTを活用した教材作りを中心にコツコツと研究を重ねてきています。全国全校種から応募のあった中から、2名のみがこの栄に浴することができたと聞いています。まさに快挙です。

10月8日(木)第73回国民体育大会ボクシング競技ライトヘビー級成年の部において本校総合学科マリンスポーツ系列ジュリアン・ジョンソン先生が準優勝という快挙に輝きました。ジュリアン先生は高校からボクシングを始め学生時代には数々のタイトルを手中にするとともに、2年前には全日本社会人大会で優勝した経歴を持ちます。

今大会では、準決勝まで相手を寄せ付けないパーフェクトな試合運びで勝ち進みました。決勝戦では、ハードパンチャーを相手に姿勢を低く、相手の懐に入っていくながら機を伺うスタイルで戦いましたが、2ラウンド1分58秒相手とのバッティングにより負傷した左目上の傷からの出血により惜しくも試合を棄権することとなりました。

インタビューした時は、まだ顔面にアザや傷跡が生々しく残っていましたが「試合に勝てなかったことは悔しいですが、全日本社会人大会で優勝した時よりも選手層の厚いこの大会の準優勝の方が嬉しいです」と素敵な笑顔がありました。

両名の先生に「今後の抱負」を聞くと、なんと返ってきた答えが二人とも「今後の教育活動(指導)に生かしたい」でした。自己の飽くなき探究心・向上心はもちろんですが、何よりも「教育者」としての意気込みと「社会人」としての謙虚さと自信が伝わってくる言葉ではありませんか。生徒らの活躍の裏には日々頑張っている立派な指導者がいるのです。

